

エアライン・トレーニング・スタディ(夏期)

プログラム区分	海外実習	
主幹部署・問合せ先	現代国際学部	
研修先国・都市名	マレーシア・ペタリンジャヤ	
研修先	マレーシア航空(MAB)アカデミー	
プログラム概要	<p>クアラルンプール近郊にあるマレーシア航空研修センターにて、4日間の客室乗務員(CA)研修を体験します。プログラムの内容は緊急時の対応の実地訓練、そしてマレーシア航空の基準に即したメイクとヘアスタイルを習い、制服を着用して立ち居振る舞いや機内サービスのレッスンをします。マレーシア航空の日本人CAが指揮を執り、中身の濃い研修を体験します。宿泊はホテルとなり、マレーシア滞在中はイスラム文化を通して異文化を学ぶこともできます。</p>	
日程	2026年8月下旬～2026年8月下旬 (1週間)	
単位認定	エアライン・トレーニング・スタディ A (2単位)	
他学科生の受入れ	可 受入れ可の他学科：全学科	
内容	語学研修：無	語学研修以外の内容：有
引率者の有無	全日程	
住形態	ホテル	
参加費用 (概算・見込み)	参加費総額： 円/人 大学補助金： 最大円	
その他	説明会は4月頃に実施予定でポータルにて案内。	

体験記

エアライン・トレーニング・スタディ(夏期)に参加して

氏名：齋藤芹奈 (2025 年度参加)

私は人と世界をつなぐ航空業界の仕事に強い関心があり、マレーシア研修に参加しました。研修の中で最も印象に残ったのは、緊急時の訓練体験です。客室乗務員は、その便を担当する際に初対面のクルーとチームを組むこともあります。そのような状況下でも、一人ひとりが役割を理解しながら乗客の命を守らなければなりません。訓練を通して、航空機内の安全は個人の能力だけでなく、瞬時の判断力とチームワークによって支えられていることを実感しました。

大学で履修しているエアラインの授業で、客室乗務員には「保安要員」と「サービス要員」という二つの役割があることを学んでいましたが、今回の研修ではそれを実体験として理解することができました。ミールサービスなどのサービス訓練と緊急時の訓練の両方を経験することで、安全を最優先にしながら快適な空の旅を提供するという仕事の本質を深く学びました。また、マレーシア航空の制服にはマレーシアの文化が随所に取り入れられており、客室乗務員は航空会社の顔であると同時に、国を背負って業務に当たっている存在であることに気づきました。インストラクターや社員の方々の温かい対応からは、受け継がれてきたマレーシアンホスピタリティを強く感じました。

この研修では、同じ夢を持つ仲間と出会えたことも大きな財産です。互いに刺激を受けながら学んだ経験は、今後の学生生活や進路選択において大きな支えになると感じています。今回の研修で得た学びを糧に、航空業界への理解をさらに深めながら、自分が目指す将来像について考え続けていきたいです。

